

## 老眼対策

JJ1SXA/池

加齢と共に老眼の進行速度が早い、3年前に作った眼鏡が合わなくなって、パソコンの画面が見づらい、と、いうわけで、現有の遠近両用の眼鏡とは別に、パソコン専用の眼鏡を新調した、目と耳の衰えで、眼鏡と補聴器に多くの費用が嵩む、衰えは、目、耳だけで無く、肉体全てに及び、肝心な頭までもだ…hi

WEBをサーチしていると、ページによっては、新調の眼鏡でも見づらい小さなフォントのページもある、フォントサイズの変更は、以前は、アドレスバーの右の「…(3点)」をクリック、ズーム項目の「+」を押してサイズ拡大をしていたが、今は、「Ctrl」キーを押しながらマウスのホイールを前に回してフォントを拡大している(後ろに回せば縮小する)、これは簡便で、WEBページ閲覧のほとんど毎回お世話になっている。

そして、この技で文字サイズを調整できるのは、「エッジ」や「クローム」などの「ブラウザアプリ」の他「ワード」や「エクセル」などの「オフィスアプリ」等でも有効な技だ。

ワードで原稿を書いている時、この技はFB、見かけのサイズは拡大されるが、最初に設定した「フォントサイズ」は変わらない。

この文字サイズ変更技の次に実行しているのは、デスクトップ画面全体の拡大率を上げる方法だ、文字だけで無くアイコンなども大きく見易くなり効果抜群、デスクトップ画面で右クリック、開いたメニューで「ディスプレイ設定」選択、「拡大/縮小」の拡大率を上げる、「Win10では、開いた「ディスプレイ」設定画面の「テキスト、アプリ、その他の項目のサイズを変更する」という項目で拡大率を変更だ。

ただし、画面の拡大率を上げると、デスクトップ画面の表示領域は狭くなる、時にはこれでは困り、テキストのサイズ変更にする、設定アプリから「アクセシビリティ」を選び一番上の「テキストのサイズ」をクリック、開いた画面のスライダーでサイズを調整、Win10では、「設定」アプリから「簡単操作」→「ディスプレイ」の順に選択、開いた画面で「文字を大きくする」の項目の下にあるスライダーを調整する。

後、マウス操作に使うポインターを 目立たせるのも手だ、「設定」→「Bluetoothとデバイス」→「マウス」→「マウスポインター」と選び「サイズ」欄にあるスライダーを右に動かせば良い、Win10では、「設定」アプリから「簡単操作」→「マウスポインター」で開いた画面で「ポインターのサイズを変更する」の下にあるスライダーを調整する。

また、マウスポインターを色付きにして目立たせる方法もある、前記のサイズ変更の画面で、「サイズ」の上にある「マウスポインターのスタイル」で一番右の「カスタム」を選び、おすすめの色から好みの色を選ぶ、これで色付きマウスだ。

この他、取って置きの奥の手、「拡大鏡」アプリの使用だ、この機能は、「Windows」と「+」キーの同時押しで呼び出せる、元に戻すのは 「Windows」と「Esc」キーの同時押しだ、200%程度の拡大率にしておけば、小さな文字の判別にも苦労しない。

以上、私の老眼対策です、若い人には関係無いだろうが、老眼で苦労しているご同輩、使っていなかった機能があれば、即、お試しあれ。

(2024年4月記)